



小野寺拓也

野戦郵便から読み解く 「ふつうのドイツ兵」

第二次世界大戦末期におけるイデオロギーと「主体性」

敗色濃厚な大戦末期にあって、
なぜドイツ兵たちは戦い続けたのか——。
兵士の手紙5477通からその心性に迫る、
エゴ・ドキュメントの歴史学。

「史料と問い」から
戦争の「日常史」を学ぶ。

山川出版社

定価：1,540円(本体1,400円+税10%)

『山川セレクション 野戦郵便から読み解く「ふつうのドイツ兵」への序文』

本書は、二〇一二年に出版された『山川歴史モノグラフ26 野戦郵便から読み解く「ふつうのドイツ兵」——第二次世界大戦末期におけるイデオロギーと「主体性」』を、一般読者向けに書き直したものである。二〇一二年の『野戦郵便から読み解く「ふつうのドイツ兵」』は、博士論文をもとにしたモノグラフで、生硬な表現や文章の拙さにもかかわらず、少なくない読者の方々に手に取っていただくことができた。とくに高校の先生方や高校生などにも読んでいただいたことは、望外の喜びであった。

今回の「山川セレクション」版では、ナチ体制や第二次世界大戦、ドイツ国防軍に興味のある一般読者はもちろんのこと、高校や大学の教育現場をとくに念頭に置いている。二〇一二年度から高等学校で「歴史総合」が導入され、二〇二三年度からは「日本史探究」「世界史探究」も開始される。史料を用いて自ら問いを立てていくような歴史学習が、今後は一般的になっていくものと思われる。そうした趨勢は、大学における歴史教育にも少なからず影響を及ぼすだろう。そこで、高校・大学教員が「問い」とともに提示できる史料を提供したいということが、今回新版として本書を刊行する意図の一つである。各章の冒頭に「本章全体の問い」、末尾に「内容確認のための問い」を設定し、それ

[カバー写真]

野戦郵便を読む兵士

(1942年10月、ロシア・コーカサス地方のテレク近郊にて撮影)

ぞれの章の内容をより理解しやすくした。それらの問いは最終的には、序章で挙げるイデオロギーと「主体性」をめぐる二つの「大きな問い」へと繋がっている。もちろん、煩瑣に感じられる方は問いを読み飛ばしていただいかまわらない。

なお一般書としての性格に鑑み、研究史に関する記述の多くはカットし、註や参考文献一覧も削除してある（かわりに簡単な読書案内を追加した）。これらに興味のある方は、是非二〇一二年版を参照されたい。

目次

「山川セレクション 野戦郵便から読み説く「ふつうのドイツ兵」」への序文

序章 ナチ体制と「ふつうの人びと」

はじめに 4

本書における問いと視点／野戦郵便という史料の性格／検閲と「代表性」をめぐる／取り上げる史料について

第一章 「ふつうのナチ」HKの場合

はじめに 24

1 「銃後」のHK

RADにて／訓練期間

2 前線のHK

前線に到着／前線後方で

おわりに 51

第二章 戦友意識・男らしさ

はじめに 58

1 軍隊内の結びつきと軋轢

地域／社会階層／兵科／軍隊階級／前線と後方／宗派／軍隊と一般社

会 戦友と友人／軍隊のなかの市民社会

2 男らしさ、ハードであること

軟弱になることへの恐怖 解離／鈍感になるということ、思考停止／勇

敢さ、耐え抜く意志 試練としての苦境、人間としての「成長」／故郷

の女性に求められる男性性 「ハードであること」の意味

おわりに 153

第三章 暴力経験・被害者意識

はじめに 160

1 直接・間接の暴力経験

前線における暴力経験／粗暴化する軍隊／暴力情報のネットワーク(1)

——空襲／暴力情報のネットワーク(2)——避難民

2 主体性の喪失と「回復」

現地住民からの徴発／対パルチザン作戦／被害者意識と主体性

おわりに 213

第四章 他者・自己イメージ

はじめに 220

1 敵・他者イメージ

ユダヤ人／ロシア軍・ポリシエヴィキ／英米軍／本国の外国人／現地の

住民／土地や文化

2

味方・自己イメージ

ヒトラー 政治指導者・軍指導部／ドイツ・ドイツ人／犠牲・義務／総

力戦体制 故郷・家族

おわりに 302

終章 イデオロギーと「主体性」

イデオロギーをめぐって 「主体性」をめぐって

あとがき——本書と歩んだ十年間

引用手紙・覧

読書案内

山川セレクション

野戦郵便から読み解く「ふつうのドイツ兵」

第二次世界大戦末期におけるイデオロギーと「主体性」

小野寺 拓也 おの たくや

1975年生まれ

2010年、東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了、博士(文学)

現在、東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授

主要論文：「ナチ「民族共同体」論の射程——道徳・感情という視点から」〔ゲシヒテ〕第9号、2016年)

「ナチ体制と「感情政治」——第二次大戦下のクリスマス为例に」〔思想〕第1132号、2018年)

「感情と情報リテラシーが交差するところ——噂、ニュース、エゴ・ドキュメント」長谷川貴彦編『エゴ・ドキュメントの歴史学』(岩波書店、2020年)所収

YAMAKAWA SELECTION

やせんゆうびん よと べい
野戦郵便から読み解く「ふつうのドイツ兵」
第二次世界大戦末期におけるイデオロギーと「主体性」

2022年12月10日 第1版1刷 印刷

2022年12月15日 第1版1刷 発行

著者 おの たくや
小野寺拓也

発行者 野澤武史

発行所 株式会社山川出版社
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13
電話03(3293)8131(営業)8134(編集)
<https://www.yamakawa.co.jp>
振替 00120-9-43993

印刷所 株式会社太平印刷社

製本所 株式会社プロケード

装幀 水戸部功

© Takuya Onodera 2022 Printed in Japan ISBN978-4-634-42407-4
造本には十分注意いたしておりますが、万一、落丁・乱丁などが
ございましたら、小社営業部宛にお送りください
送料小社負担にてお取り替えいたします。
定価はカバーに表示してあります。